

平成27年9月4日

平成27年度文部科学省委託事業の採択について（報告）

本年度、文部科学省が創設した、全国の学校統合を契機とした魅力ある学校づくりに対する国の委託研究事業、「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」について、「岡谷小学校統合を契機とした魅力と活力ある学校づくり」の事業提案が採択となりました。（制度概要は別紙のとおり）

本事業は、統合を契機にした魅力ある学校づくりの取り組みによって蓄積される様々な効果や成果などを、国の積極的な支援のもと、他の自治体の今後の取り組みに活かすため、国が委託する研究事業であり、公募による提案事業を国の審査委員会が選考した結果、全国で5団体が採択となったものです。

今後、国の委託事業として契約を交わした上で、全国のモデルとなるように、統合を契機とした魅力ある学校づくりを進めてまいります。

<モデル事業の概要>

○事業名 「岡谷小学校統合を契機とした魅力と活力ある学校づくり」  
～地域資源を活用した「岡谷『ひと・もの・こと』教育の構築」～

【テーマ】 統合を契機とした岡谷版コミュニティスクール（信州型）の導入

【テーマ】 統合校の特色を活かしつつ公開授業を行う新たな研究推進校の育成

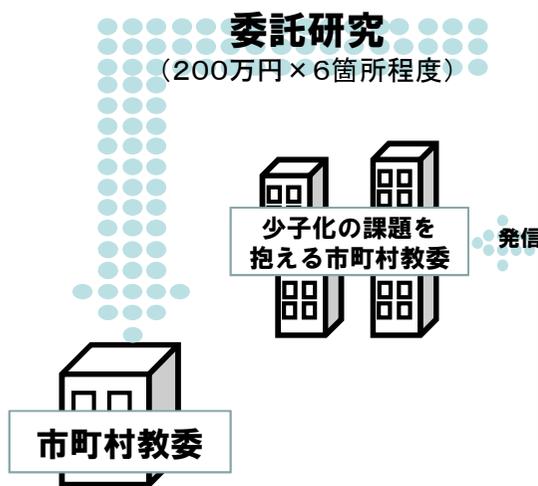
【テーマ】 製糸、シルク、産業などの地域資源を活用した学習カリキュラム  
（岡谷スタンダードカリキュラム）の構築

○採択予定額 （調整中）

○事業期間 3年間（年度毎の契約は、審査の上、毎年度決定されます。）

# 少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業 (平成27年度予算額 27百万円(新規))

国の積極的な支援のもと、統合による魅力ある学校作りや、統合困難な地域における教育環境の充実の取組モデルを創出  
 ⇒生み出された好事例を文部科学省が積極的に分析・発信し、少子化対応を加速化

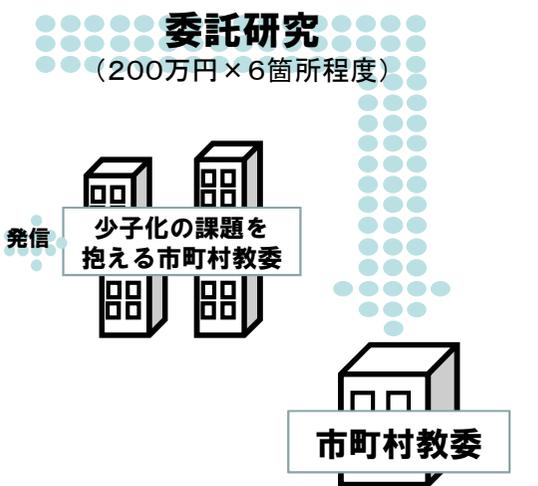


**文部科学省**

実効的な成果が挙がるよう、**事業の計画段階から実施に至るまで**、有識者の助力を得つつ**丁寧に市町村教委・学校を支援**

有識者の力を借りつつ、委託先の**教育上の効果等の成果の分析・取りまとめ**

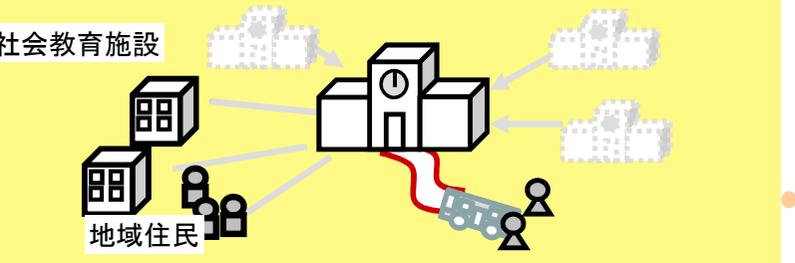
**創出した事例を他の自治体に積極的に発信**



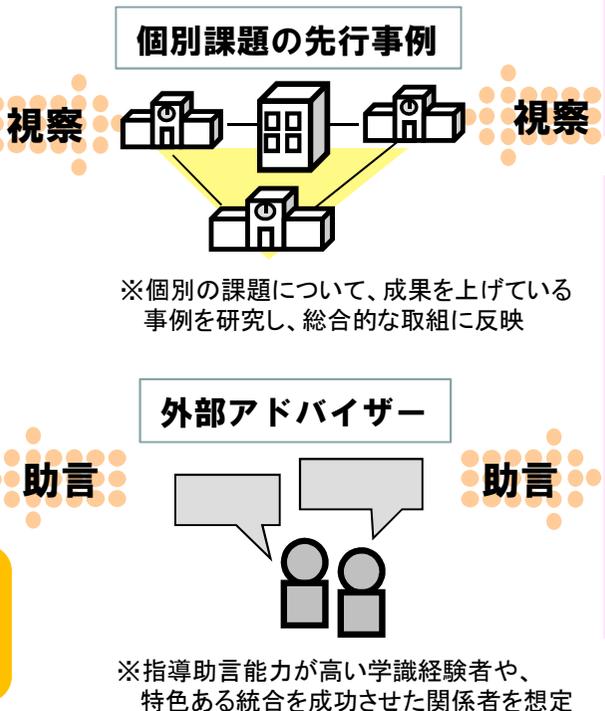
## ①魅力的な学校統廃合事例

学校統廃合を通じて充実した教育環境の創出を目指す地域において、デメリットを抑えた魅力的な学校統廃合の実現。

【魅力ある学校づくりの方策例】  
 統合対象地域の多様な特色を学び合うカリキュラム開発、コミュニティスクールの効果的な導入、社会教育とシームレスにつながった学校教育活動・施設整備の研究など

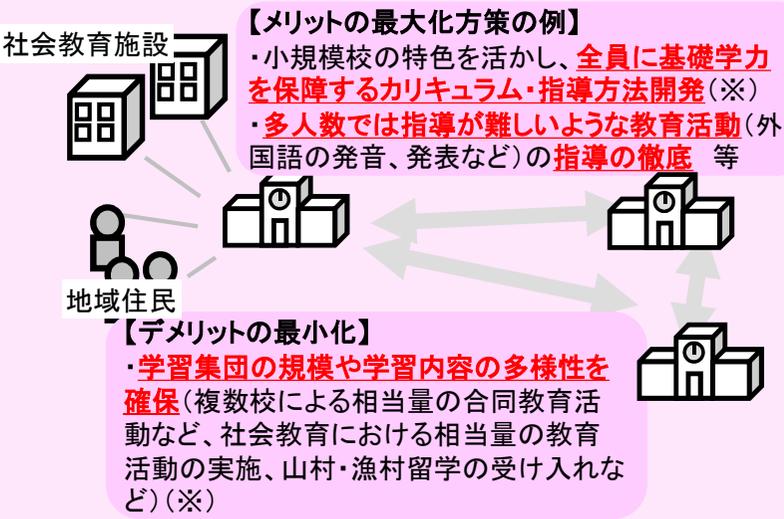


【統合により生じる課題への対応方策例】  
 適切な**通学手段の確保・運用**(スクールバス乗車時間の有効活用、長時間乗車後の脳の活性化方策、スクールバス通学に伴う子供の体力低下への対応)など



## ②小規模校を存続させる場合の教育環境の充実に事例

小規模校を存続させる場合や、休校している学校を再開する場合等に、小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化する方策を徹底追求。



※ICTを活用した教育環境の充実については、主として人口減少社会の学校教育におけるICT活用の実証研究事業で実施。